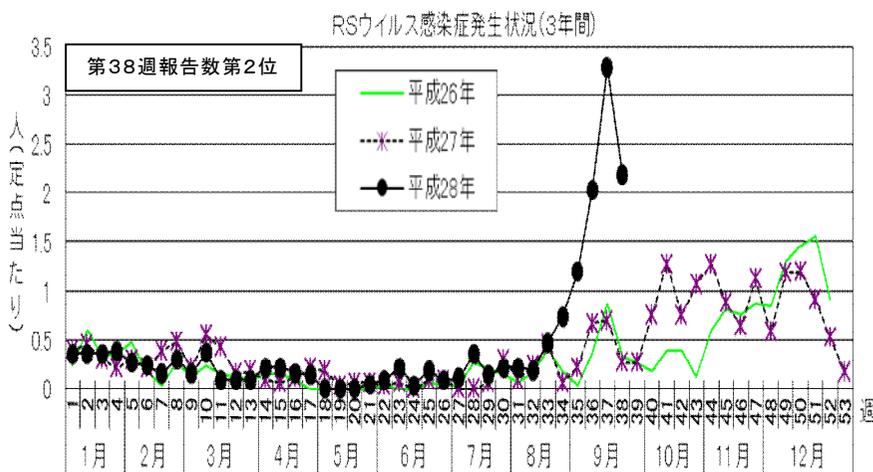
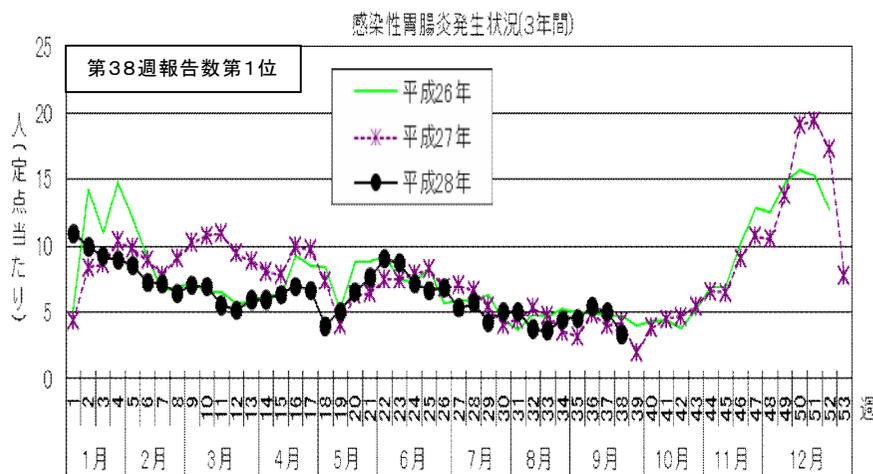


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成28年9月19日（月）～平成28年9月25日（日）〔平成28年第38週〕の感染症発生状況

第38週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) RSウイルス感染症 3) 流行性角結膜炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.31人と前週（5.06人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。
 RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は2.19人と前週（3.28人）から減少し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は1.67人と前週（1.56人）からやや増加し、例年より高いレベルで推移しています。



全国的に麻疹（はしか）が発生しています！！

現在、全国で複数の麻疹（はしか）患者が発生しています。

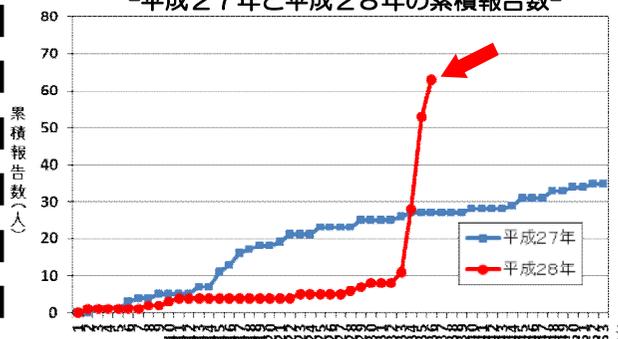
麻疹患者に接触すると、免疫のない方の場合、約10～12日の潜伏期間を経て発熱、咳、鼻水など風邪様症状が出現します。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現し、多くの方は、その後3～4日で解熱します。免疫のない患者では約15%に肺炎や中耳炎、約0.1%に脳炎などの合併症を併発することがあります。また、発症日の1日前から解熱後3日を経過するまでは、周囲に感染させる可能性がありますので外出を控えましょう。



なお、医療機関を受診される場合は、必ず事前に電話して感染の疑いを伝え、指示に従って下さい。



全国における麻疹発生状況
-平成27年と平成28年の累積報告数-



定期予防接種の対象年齢の方々は、期間内に接種するようにしましょう。

- ～定期予防接種について～
- 第1期 生後12月から生後24月に至るまでの間にある者
- 第2期 小学校入学前の年度1年間（今年度は平成22年4月2日～平成23年4月1日生まれが対象）

